

令和2年度 国立大学イノベーション創出環境強化事業
申請大学の一次審査結果

国立大学法人運営費交付金 重点支援①¹及び②²の大学

一次審査方法
<p>下記 (i) ~ (iii) の指標の点数の合計点 (30 点満点) により、順位付けを行う。 ※ (i) ~ (iii) それぞれ 1 位 10 点、2 位 9 点、…11 位以下 0 点とする。</p> <p>(i) 大学収入における外部資金収入の割合 (上位 20 大学を選出し、点数化する。)</p> <p>以下、選出された 20 大学のみを対象とし、(ii) 及び (iii) の指標で点数化する。</p> <p>(ii) (i) の伸び率 (下記の式により、ポイント値の上がり幅を算出) (「令和元年度の実績 (%)」-「平成 30 年度の実績 (%)」)</p> <p>(iii) 共同研究の直接経費に対する間接経費の割合</p>

(i) 大学収入における外部資金収入の割合

順位	大学名	重点支援	外部資金割合
1	岐阜大学	①	22.00%
3	豊橋技術科学大学	①	19.59%
7	お茶の水女子大学	②	17.65%
8	九州工業大学	②	17.62%
18	弘前大学	①	15.37%

(ii) 大学収入における外部資金収入の割合の伸び率 (ポイント値の上がり幅)

順位	大学名	重点支援	R1	H30	上げ幅 (ポイント)
1	お茶の水女子大学	②	17.65%	13.64%	4.01
2	九州工業大学	②	17.62%	13.97%	3.65
5	豊橋技術科学大学	①	19.59%	17.51%	2.08
6	弘前大学	①	15.37%	13.35%	2.02
9	岐阜大学	①	22.00%	20.87%	1.12

¹ 主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

² 主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

(iii) 共同研究の直接経費に対する間接経費の割合

順位	大学名	重点支援	R1 間接経費割合
2	岐阜大学	①	20.96%
4	九州工業大学	②	19.27%
6	弘前大学	①	17.65%
7	豊橋技術科学大学	①	15.42%
19	お茶の水女子大学	②	8.91%

結果

順位	大学名	重点支援
1	岐阜大学	①
3	九州工業大学	②
4	豊橋技術科学大学	①
5	お茶の水女子大学	②
6	弘前大学	①

※2位は令和元年度採択校につき除外

国立大学法人運営費交付金 重点支援③³の大学

一次審査方法

下記 (i) 及び (ii) の指標の点数の合計点 (30 点満点) により、順位付けを行う。

※ (i) は 1 位 20 点、2 位 19 点、…16 位 5 点、(ii) は 1 位 10 点、2 位 9 点、…11 位以下 0 点とする。

(i) 共同研究の直接経費に対する間接経費の割合

(ii) (i) の伸び率 (下記の式により、ポイント値の上昇率を算出)

(「令和元年度の実績 (%)」-「平成 28 年度の実績 (%)」) / 「平成 28 年度の実績 (%)」

(i) 共同研究の直接経費に対する間接経費の割合

順位	大学名	重点支援	R1 間接経費割合
3	岡山大学	③	22.97%
4	九州大学	③	21.07%
5	名古屋大学	③	20.52%
7	東京農工大学	③	20.25%
8	金沢大学	③	17.51%

(ii) 共同研究の直接経費に対する間接経費の割合の伸び率 (ポイント値の上昇率)

順位	大学名	重点支援	R1	H28	伸び率
2	金沢大学	③	17.51%	4.95%	253.80%
3	岡山大学	③	22.97%	9.82%	133.83%
8	東京農工大学	③	20.25%	15.94%	26.99%
12	名古屋大学	③	20.52%	18.69%	9.81%
14	九州大学	③	21.07%	19.76%	6.59%

結果

順位	大学名	重点支援
1	岡山大学	③
3	金沢大学	③
5	東京農工大学	③
5	九州大学	③
7	名古屋大学	③

※2 位、4 位は令和元年度採択校につき除外

³ 主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組を中核とする国立大学を支援